

令和7年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 添田 智

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
技術	9・開隆堂 技術・家庭 (技術分野) テクノロジーに希望を のせて	<p>○ 各内容の構成は統一され、基本(知識・技能)、問題解決(思考・判断・表現)、社会へ(主体的に学習に取り組む態度)となっている。また、ページの構成も見開きで「学習の目標、学習課題」、「学習内容(本文)」、「CHECK」となっており、学習の流れがイメージしやすく配慮されている。</p> <p>○ 内容に入る前のガイダンスを充実させるとともに、学習の流れは、各内容とも「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」で構成し、どの視点で技術を学んだらよいかを意識しながら繰り返し学習を行うことで、技術の見方・考え方を働かせることができるように工夫されている。</p> <p>○ 各内容の導入ページには、以下の内容がまとまっており、生徒の学習の見通しがもてる工夫がされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの技術に気づかせるために「製品の進歩」が具体例をもとに記載されており、分かりやすい。 ・学習の流れや小学校、他教科とのつながりが一覧で示されており、単元の見通しがもちやすい。 ・「見方・考え方」に気づかせるために、既存の製品の例が挙げられ、その製品に込められた願いや要求、技術の味方・考え方が示されている。 ・身の回りの具体的な製品を挙げて、製品に込められた願いや要求や技術の見方・考え方などが示されている。 <p>○ 各内容では、以下の特色が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術では、森林の育成技術があり森林を育成する意義や林業の持続に向けた取組が記載され、環境問題にも配慮されている。 ・エネルギー変換の技術では、同じエネルギー変換でも、電気と運動が小項目で分かれて記載されており、学習内容が区切られ、整理・工夫されている。また、電気機器から機械と動力それぞれの保守点検についてまとまっており、生徒の学習の流れに沿うように工夫されている。 ・情報の技術では、知的財産について小項目で取り扱われており、著作物の保護や利用、考え方などに触れ、望ましい活用を考えられるように工夫されている。